

環境中期計画「ブーア(Blue Earth)21」の進捗状況を報告します。

環境中期計画スローガン

環境で選ばれるコスモ石油

真の環境先進企業を目指す

企業市民として社会的責任を果たす

環境保全と経済性の両立

「ブーア21」では、「環境中期計画スローガン」を掲げ、9つのテーマを設定し、部門ごとに目標達成に向けて、取り組みを進めています。

2002年度の進捗状況

環境中期計画の初年度であり、推進体制の整備から開始する取り組みもありました。各テーマごとの進捗状況は右の通りでした。

2003年度の計画

2002年度の実績を踏まえ、全社員で取り組める「地道」な取り組みの強化と、リスクマネジメントへの取り組みを2003年度の重点項目としました。具体的には、「サイト別ゼロエミッション」「グリーン購入」「土壤環境対応」の3つの取り組みを行います。

サイト別ゼロエミッション

製油所・油槽所

「当社技術の活用」「3Rの推進」「グリーン購入によるリサイクル可能素材への変更」等の対応を織り込み「ゼロエミッション」を目指す

オフィス

全社推進組織「オフィスクリーンチーム」の設置および3R推進体制の整備による各事業所の「ゼロエミッション」「省エネルギー」を目指す

グリーン購入

資機材・工事等のグリーン購入ガイドライン策定

グリーンサプライヤー選定基準の策定

土壤環境対応

土壤汚染の未然防止

計画的な土壤調査と適切な対策実施

環境中期計画「ブーア21」と2002年度の進捗状況

取り組み内容
1 温暖化対応: 事業活動におけるCO ₂ 削減と新エネルギーへの取り組み
省エネルギー
京都メカニズムへの取り組み
新エネルギーへの取り組み
2 汚染物質排出削減:法規制値を下回る排出抑制の継続と、産業廃棄物等の自社基準での対応
大気汚染防止
水質汚濁防止
産業廃棄物の削減
化学物質管理
VOC削減の自主対応
3 土壤環境対応: 実態把握・対応と未然防止の推進
SS(サービスステーション)
他事業所
4 省資源:3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進による一般廃棄物の削減等
紙
日用品
水
5 製品の環境負荷低減: 環境負荷の低い石油製品の供給
軽油対応
ガソリン対応
6 グリーン購入: グリーン購入対象の拡大
資機材・工事等
事務用品
グリーンサプライヤーからの購入
7 研究開発:石油製品、および事業活動に関連する環境技術開発と、新エネルギー分野での技術開発
石油製品
環境技術開発
新エネルギー分野
8 環境貢献プロジェクト: 温暖化防止を中心とするプロジェクトの継続的な展開
環境保全技術協力
「エコ」カードプロジェクト
社会貢献
9 環境経営推進体制:環境マネジメントの継続的な推進と、さまざまなステークホルダーへのコミュニケーション
環境マネジメント
コミュニケーション

:低減を意味します :2002年度に目標値を見直し・設定しました

中期目標(2004年度)	2003年度目標	2002年度実績	関連頁
製油所におけるエネルギー消費原単位 9.2%(1990年比)	8.0%(1990年度比)	9.7%	23
物流部門における燃料消費量削減 ローリー 20%、内航船 17%(1990年比)	ローリー 19% 内航船 16%	ローリー 16.5% 内航船 15%	29
オフィスにおける省エネルギーの推進	全社展開体制の整備	本社部門調査実施	24
京都メカニズムの利用検討		排出権・CDM化等のノウハウ蓄積	16
新エネルギーの導入検討		風力発電の検討開始	-
製油所のNOx、SOx、ばいじんの現状排出レベル(法規制値以下)の維持		維持(各種関連法規制遵守)	45~50
製油所のCOD排出量の現状排出レベル(法規制値以下)の維持		維持(各種関連法規制遵守)	
製油所の最終処分量の平均削減率(2002~2004年) 81%(1990年比) サイト別ゼロエミッションに向けた体制づくり		83%	24
法規制に基づく化学物質管理の実施・推進		PRTR法による届出実施	26
製油所・油槽所・SSをリンクさせた対応方法の検討		-	-
未然防止の推進 SS施設の自主点検、対応の実施		リスクアセスメント実施、啓発活動実施、新設備管理基準作成開始 アセス結果に応じた自主点検の実施	12
事業所別土壌調査・対応の実施	計画的な調査・対策実施	履歴調査実施、一部サイトにて土壌調査開始	
紙購入量 40%削減(2002年度比)	18%(2002年度比)	本社での分別回収の仕組み整備	24
全事業所にて分別回収・再資源化(=ゴミゼロ)達成	取り組み事業所の拡大	一部事業所にて推進	
SSにおける排水リサイクル装置の導入推進(2件以上)	4件	2件	-
硫黄分50ppm規制に対応した軽油の供給		50ppm供給体制確立	13
新長期製品規制(硫黄分10ppm)に対応した対応供給体制の確立		対応方針の検討	14
資機材(建築資材等)、副資材(薬品、触媒等) 工事等のグリーン購入の実施と対象範囲の拡大	ガイドライン策定	グリーン購入基準策定に向けた調査実施	27
グリーン購入比率80%(アイテム数)	比率70%(アイテム数)	文房具グリーン購入基準作成と購入開始	
グリーンサプライヤーからの購入実施	選定基準策定	基準策定に向けた調査実施	
製品の環境負荷低減に向けた高性能脱硫触媒開発		低硫黄軽油対応触媒の開発(直脱・間脱・超深脱)	12
廃棄物の削減に向けた触媒使用量の削減・再利用技術と、余剰汚泥削減技術の開発		開発技術を製油所で実証化し、汚泥発生量50%削減を確認	
土壌中の油分評価技術の開発		土壌中の油分評価技術の研究継続中	17
VOC等ペーパー吸着・回収に関わる技術開発		VOC回収装置の販売(2件)	
燃料電池システム、天然ガス液体燃料化(GTL)技術開発		GTLプロセスのパイロット実証化	16
環境関連技術の海外移転実施		海外技術協力実施	37
発展途上国の環境修復と保全、日本の自然保護、環境教育・啓発プロジェクトの継続実施		各種プロジェクトの実施(7件)	33
社会貢献活動の継続実施		クリーンキャンペーン、わくわく探検隊等継続実施	35
人材育成に向けた環境意識共有化の推進		社内研修に環境教育組み入れ	32
ステークホルダー別の効果的な環境情報の発信		社内外コミュニケーションを積極展開(環境報告書簡易版、環境HP、エコプロダクツ展、環境広告展開等)	38